

## ■適用シーン

本社の戦略検討部門で行う分析・経営戦略の策定に加え、収集された膨大なデータの中から簡単に必要な情報の抽出・活用が可能となったことで、現場がその日のうちに売上拡大に向けた施策を立てることが出来ます。

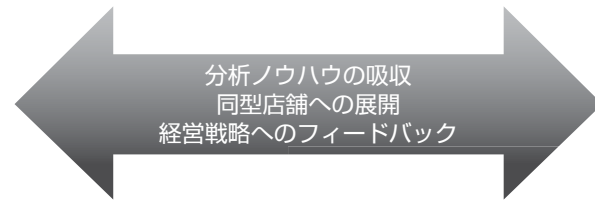
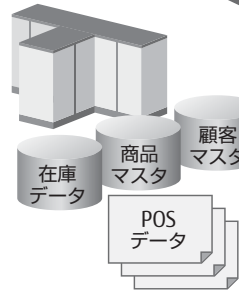
リアルタイムなビジネス分析をノウハウ化し、共有・フィードバックすることにより、店舗ごとの部分最適な戦略から企業の全体最適な戦略まで策定できるようになります。価値ある情報を逃さずすぐに活用することで、よりきめ細かなビジネス戦略の展開が可能になります。

### マスマーケティング →全体戦略

売上分析  
店舗展開戦略



【本社戦略検討部門】



### エリアマーケティング →店舗毎の戦略

売上分析  
顧客指向分析  
施策の試行錯誤

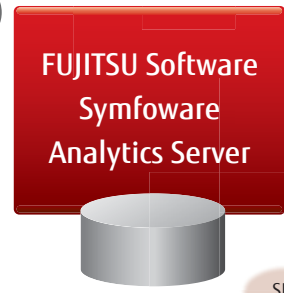
【郊外大型店舗】



【駅近小型店舗】



【ビジネス街店舗】



## 製品構成

製品名	Symfoware Analytics Server	企業内のデータ共有を実現し、情報利活用に必要なデータの収蓄積・分析の一連の機能が統合された高性能データウェアハウス。
オプション製品名	Symfoware Analytics Server Advanced Security Option	カラムナテーブルの暗号化により情報漏えいの脅威からデータを守るオプション製品。連邦情報処理標準のAESに準拠した暗号化により安全な運用が可能。
	Symfoware Analytics Server Partitioning Option	カラムナテーブルの管理を効率化するオプション製品。アクセス単位や頻度に応じてデータセットをパーティショニングし、バックアップ・リストアの実行時間やトラブル時の復旧時間を短縮。
	Symfoware Analytics Server Scale Out Option	カラムナテーブルを複数サーバで並列に運用するオプション製品。利用者やジョブの増加に合わせて、段階的にサーバを増設し、複数の検索要求に対してスループットを向上。

## 動作環境

動作OS	サーバ Microsoft® Windows Server® Red Hat® Enterprise Linux Oracle Solaris	クライアント Microsoft® Windows Server® Windows® Red Hat® Enterprise Linux Oracle Solaris
------	--	---

※ご使用になる製品のレベルや機能により異なります。

\*このカタログは、2019年8月現在のものです。改良のため予告なしに仕様・デザイン等を変更することがあります。  
 \*Microsoft、Windows、Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。  
 \*Linuxは Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。  
 \*Red Hat、PRW および Red Hat をベースとしたすべての商標とロゴは、Red Hat, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。  
 \*Excelは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。  
 \*Tableau、記載されているすべてのTableau製品は、Tableau Software Inc.の商標または登録商標です。  
 \*Symfowareは富士通株式会社の登録商標です。  
 \*記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。  
 \*本カタログに記載されているシステム名、製品名などには必ずしも商標表示 (TM・®) を付記しておりません。

### 製品・サービスについてのお問い合わせは

富士通コンタクトライン (総合窓口)

**0120-933-200**

受付時間 9:00~17:30 (土・日・祝日・年末年始を除く)

富士通株式会社 〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

<https://www.fujitsu.com/jp/software/symfoware/analyticsserver/>

Q24602-2-2019年8月M

## FUJITSU Software

シンフォウェア アナリティクス サーバ

## Symfoware Analytics Server V12

## 情報利活用を支えるデータウェアハウス



shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

## 経営と業務の現場、それぞれの視点で欲しい情報をすぐに抽出・活用することで最大限のビジネス効果を生み出す

お客様のビジネスに影響を与える市場の多様化や急速な変化により、情報量が爆発的に増加しています。次々に変わっていく市場での顧客の動きを確実に捉え、的確な経営判断へと結び付けるためには、時々刻々と発生する膨大な情報を基に、経営やビジネスの現場がそれぞれにタイムリーな情報利活用を行い、企業戦略や現場の施策にスピーディーに反映させていくことが必要になります。

「FUJITSU Software Symfoware Analytics Server」は、このような情報利活用に必要な機能を統合した製品です。現場で発生する様々な大量データを収集・蓄積し、簡単かつ高速に検索・分析できます。

今まで部門ごとに管理されていたデータを統合して全社横断の情報利活用を実現し、ICT部門に委ねられてきたデータ分析は、各部門が必要なときに自ら行えるようになります。これにより各部門が適時最適なビジネス選択を行い、全社で最大限のビジネス効果を生み出すことができます。

### ■ 企業内のデータ共有と現場での分析でタイムリーに施策を立案

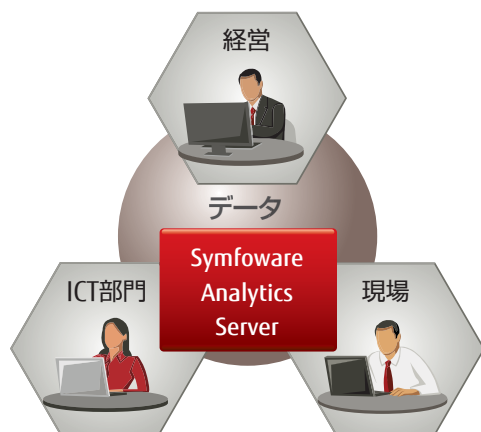
#### 連携

- 部門ごとに管理されているデータを必要に応じて連携
- 必要な情報を揃えるのに時間が掛かる
- 限定されたデータで、毎回決まった分析しかできない



#### 共有

- 一元管理されたデータを各部門がタイムリーに活用
- 企業内のデータを横断的に分析できる
- 分析の視点を自由に換えられる



### ■ お客様の反応を確認・分析のサイクルを回しながら効果の高い施策を実行

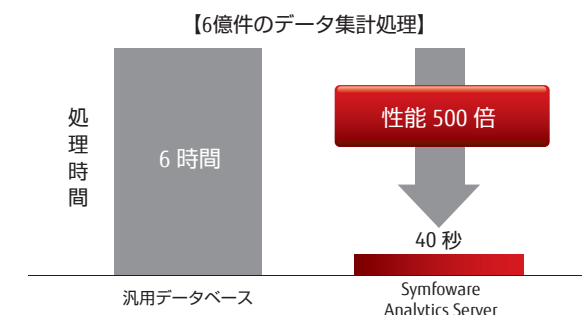


### ■ IoTでさらに広がるビッグデータ活用を支える5つの特長

#### 大量なデータからすぐに必要な情報を抽出・活用

カラム型のデータ格納方式と全カラムのインデックス化により大量データからの非定型検索が高速にでき、従来比で最大500倍の処理性能を実現します。

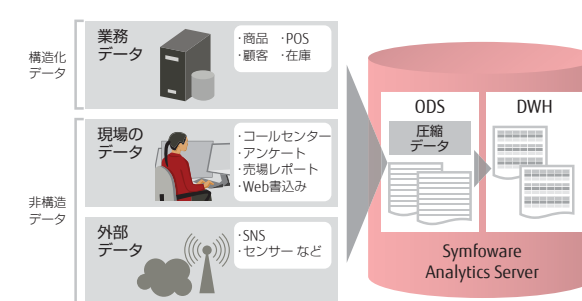
また、In-Database Analytics技術と、データ検索・分析処理の並列化により、予測・予兆などの統計解析手法を用いた分析も高速にできます。さらに、データウェアハウスに分析結果を保持して再利用できるため、より分析に必要な時間を短縮できます。これまで数時間かかっていた大量データの集計・分析処理が、わずか数秒で完了します。



#### 構造化データに加え非構造化データも収集・蓄積

POSデータのような構造化データと気象データなどの非構造化データを組合せた分析が進んでいます。一方、分析に活用するデータの形式や構造の多種多様化が進み、データの収集・蓄積処理が複雑化しています。

本製品では、構造化データだけでなく、現場の報告書や複雑な形式をもつセンサーデータなどを簡単に収集できます。また、収集したデータは事前整形せずに、オペレーショナル・データストア (ODS) に蓄積することができます。蓄積データを、必要に応じてデータウェアハウス (DWH) に格納し、様々なデータを組み合わせて分析できます。



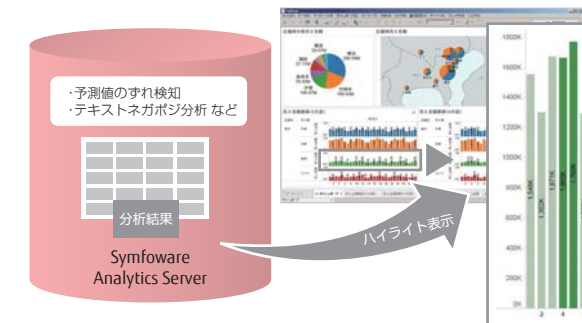
#### 現場で分析結果のポイントをすぐに把握

大量データから予測・予兆を導き出す統計解析への関心が高まっており、統計解析R\*が注目されています。

本製品では、より簡単に統計解析Rを利用できるように、SQL関数から統計解析Rを実行できるようにしています。

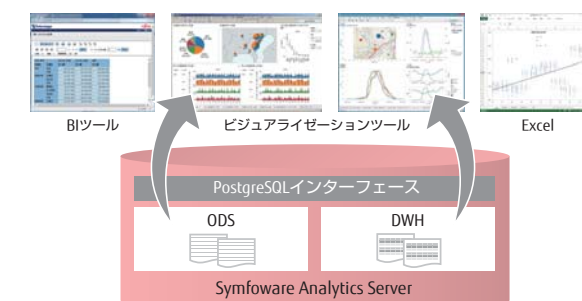
また、解析結果は、ビジュアライゼーションツールの機能により、変化点などの分析結果のポイントをハイライト表示することもできます。

\* 統計解析R: オープンソースの統計解析向けのプログラミング言語とその開発実行環境



#### PostgreSQLインターフェースで様々なツールから利用可能

PostgreSQLインターフェースを搭載しているため、従来のBIツール、ビジュアライゼーションツールまたはExcelなどの様々なアプリケーションからデータにアクセスできます。そのため、幅広いシステムで活用できます。



#### パーソナルデータの匿名化によりデータの保護と活用を両立

データのマスクングやパーソナルデータ匿名化 (K-匿名化) 技術により、利用者に応じた機密情報の保護と情報利活用が両立できます。これまで画一的なデータの保護により制約されていた情報利活用の幅を広げます。

